

れいわ ねんどさっぽろしりょう しやしゅうろうしえんかんけいしゅうようよきんがいよう
令和2年度札幌市障がい者就労支援関係主要予算概要

1 民間企業等への就労拡充

(1) 働く障がい者等への支援

障がい者就労支援推進費114,000千円

○ 障がい者就業・生活相談支援費102,548千円

- 就労を目指す障がい者等の就業面・生活面双方の相談支援（委託4か所）
- ジョブサポーターの配置
ジョブコーチ不足の補完やジョブコーチの支援対象外のフォローを行うため、ジョブサポーター（令和2年度8名）を配置し、職場定着期の離職防止をはかる。
- 拠点事業所の設置
他センター等との連絡調整、就労支援員等を対象とした研修の企画、自立支援協議会（就労部会）の運営等を行う。
- 職業能力開発プロモーターの配置
短期の就業体験、障がい者の雇用先企業等の開拓等のため、障害者職業能力開発プロモーターを拠点事業所に配置する。

じぎょうしょめい 事業所名	しょざいち 所在地	かいせつ 開設	そうだん 相談 けんかず 件数	しゅうしょく 就職 けんすう 件数
しゅうぎょう せいかつおうえん ぶらざ 就業・生活応援プラザとねっと	ちゅう きた1じょうにし 中) 北1条西20	H20.10	7,566	22
しゅうぎょう せいかつおうえんしつ 就業・生活応援室からびな	きた きた にし 北) 北17西4	H22.12	8,317	52
しゅうぎょう せいかつそうだんしつ 就業・生活相談室テラス	とよ とよひら 豊) 豊平8-11	H23.12	6,621	40
しゅうぎょう せいかつそうだんしつ 就業・生活相談室しんさっぽろ	あつ あつべつちゅうおう 厚) 厚別中央3-3	H24.10	6,968	24

※ 令和元年度実績

○ 障がい者元気スキルアップ費6,778千円

- 障がい者、福祉サービス事業所、民間企業等に対する研修、雇用企業の開拓等を行う事業。
- 障がい者雇用に関するフォーラムを実施。

○ 知的障がい者等を対象とした介護職員初任者養成費4,085千円

- ・ 特別支援学校卒業生等を対象に、19年度から手稲区でホームヘルパー養成講座を実施

- ・ 令和元年度修了者数14名

○ その他(説明会、フォーラム開催) 745千円

(2) 雇用の場の拡充に向けた支援

障がい者協働事業運営費補助金189,000千円

- 障がい者を5人以上雇用し、他の従業員が支援を行いながらともに働く民間企業等に対して運営経費を補助(平成18年10月に事業を開始)。
- 令和元年度は23事業(身障22名、知的60名、精神49名、その他1名、計132名を雇用)に対し補助。
- 実施事業としては、喫茶店経営(元気カフェふらっと(H21.2開始)、元気カフェ(H22.9開始)、元気カフェ本の森(H25.2開始)、元気カフェブラン(H28.11開始))、大型家具のリサイクル販売、パソコンの一次解体業など。

2 福祉的就労支援に関すること(工賃向上等に向けた取組)

(1) 製品販売

障がい者「元気ショップ」運営費63,000千円

- 障がい者が施設等で製作した製品等を販売する常設販売所(地下鉄南北線大通駅地下コンコース)に対する運営経費の補助・委託、使用料負担等。
- 平成26年12月に、南北線大通駅コンコース内の大通交流拠点地下広場に移転した。
- JR札幌駅西コンコースの「元気ショップいこ〜る」に対しても、「障がい者福祉活動助成費」の中で補助を実施。

販売所名	売りあげがく 売上額	つきへいきん 月平均	のべりようしゃすう 延利用者数
げんきしよつぷ 元気ショップ	やく まんえん 約6,814万円	やく まんえん 約568万円	やく にん 約119,100人
げんきしよつぷ 元気ショップいこ〜る	やく まんえん 約2,210万円	やく まんえん 約184万円	やく にん 約27,300人

※ 令和元年度実績

(2) ^{えきむ} 役務

^{げんきじょぶあうとそーしんぐせんたーうんえいひ} 元気ジョブアウトソーシングセンター ^{せんえん} 運営費25,000千円

- ^{しょう} 障がい ^{ふくししせつなど} 福祉施設等 ^{おこなうせいそう} で行う ^{いんさつとう} 清掃、印刷等 ^{えきむ} の役務 ^{ふうかんとく} や封かん等 ^{けいさぎょう} の軽作業について、
^{みんかんきぎょうなど} 民間企業等 ^{えいぎょう} への ^{じゆちゆうちようせい} 営業や受注調整。
- ^{へいせい} 平成23年 ^{ねん} 8月 ^が から、^{えいぎょうきょうか} 営業強化、^{きやうどうさぎやうぼしよとうかくほ} 共同作業場所等 ^{かつどうきよてん} 確保のため、活動拠点 ^{ほしえんこうこうあとち} を星園高校跡地 ^{ぶらざせいえん} のプラザ星園 ^{いてん} に移転。

^{ねんど} 年度	^{けんすう} 件数	^{うりあげがく} 売上額
^{れいわがねんど} 令和元年度	1,707 ^{けん} 件	約220,707 ^{せんえん} 千円

3 ^{そのた} その他の ^{しゅうろう} 就労 ^{しえん} 支援 ^{かんする} に関する ^{こと} こと

(1) ^{しょう} 障がい者 ^{しや} ICT ^{さぽーとせんたー} サポートセンター ^{うんえいひ} 運営費5,088千円 ^{せんえん}

- ^{しょう} 障がい者 ^{しや} ICT ^{りやうきかい} 利用機会 ^{かつようのうりよく} や活用能力 ^{こうじやう} の向上 ^{はかるさ} を図る ^{さーびす} サービス提供 ^{すていきやうきよてん} 拠点として
「^{しょう} 障がい者 ^{しや} ICT ^{さぽーとせんたー} サポートセンター」 ^{せつち} を設置し、^{しょう} 障がい者 ^{しや} を対象 ^{たいしやう} とした
^{ばそこんこうしゆうかい} パソコン講習会 ^{ばそこんぼらんていあやうせい} や、パソコンボランティア養成・派遣等 ^{はけんなど} を実施 ^{じっし} 。